

平成30年度(2018年度)

管理事業名	やすらぎ苑(火葬場)事業			総合計画の 体系	第5章 第1節	環境を守り育てるまちづくり 環境負荷の少ない住みよいまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 8 やすらぎ苑費
部局名	環境部	予算執行所属		地域環境課		
予算大事業名 やすらぎ苑事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】埋火葬又は改葬の許可を受けた御遺体の適切な火葬執行、死亡した犬・猫等及び医療に伴う廃棄物を適切に処分することで、環境衛生の充実を図ります。また、火葬場であるやすらぎ苑の適正な維持管理に努め、火葬業務の円滑な執行を図ります。 【概要】棺の受入、火葬及び収骨等の火葬に係る業務を行う事業及び環境部事業課から搬入される死骸及び医療に伴う排出物を焼却炉にて焼却する事業です。また、火葬場であるやすらぎ苑の火葬業務を円滑に行えるよう、施設管理を行っています。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
火葬件数	件	3,130	3,241	3,122	各年度内に執行した火葬の件数
成果の説明	直近3年間の火葬件数は横ばいです。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	37,644	39,657	34,836	△4,822
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	868	647	7,493	6,846
経常収入 小計(a)	38,512	40,304	42,328	2,024
給与関係費	22,417	21,294	9,642	△11,653
物件費	65,537	66,451	73,530	7,079
維持補修費	22,802	32,131	39,529	7,399
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	109	99	-	△99
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	31,349	31,349	31,349	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	803	815	849	34
退職手当引当金繰入額	△780	606	732	125
支払利息	5,823	3,849	2,053	△1,796
その他	-	-	534	534
経常費用 小計(b)	148,061	156,594	158,218	1,624
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△109,549	△116,290	△115,890	400
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△109,549	△116,290	△115,890	400
一般財源充当額	173,540	175,296	140,509	△34,787
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	63,991	59,006	24,619	△34,387

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
その他(経常収入)	残骨灰等処理業務における有価物売却金 6,829千円ほか 【増額理由】指定管理者により効率的な有価物処理がなされたことによる
物件費	指定管理料 65,917千円ほか 平成30年度から指定管理者による管理運営を始めました。
維持補修費	やすらぎ苑に係る建物等修繕料 39,529千円(+7,398千円) 【増額理由】平成30年度に熱交換器本体取替等、高額の修繕を実施したことによる

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	38,409	39,797	42,328	2,531
行政サービス活動支出	118,454	125,503	126,475	972
行政サービス活動収支差額	△80,045	△85,706	△84,147	1,559
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	2,330	2,330
投資活動収支差額	-	-	△2,330	△2,330
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	93,495	89,590	54,032	△35,559
財務活動収支差額	△93,495	△89,590	△54,032	35,559
収支差額 合計	△173,540	△175,296	△140,509	34,787
一般財源充当額	173,540	175,296	140,509	△34,787
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	行政サービス活動収入:やすらぎ苑(火葬場)使用料 行政サービス活動支出:指定管理委託料 財務活動支出:公共施設償還
--------------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
火葬1件当たりのコスト	平成28年度	3,130 件	47,304 円	火葬炉設備修繕に伴う維持補修費の増加等により、1件当たりのコストが増加しています。
	平成29年度	3,241 件	48,317 円	
	平成30年度	3,122 件	50,678 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	54,846	23,922	△30,924
未収金	561	27	△534	地方債	54,032	23,073	△30,958
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	815	849	34
徴収不能引当金	△27	△27	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	3,596,226	3,564,877	△31,349	その他流動負債	-	-	-
土地	2,522,082	2,522,082	-	固定負債	126,441	103,192	△23,248
建物・工作物	1,074,144	1,042,795	△31,349	地方債	117,624	94,551	△23,073
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	8,816	8,641	△175
無形固定資産	76	76	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	181,287	127,115	△54,172
建物・工作物	-	-	-	純資産	3,415,549	3,437,838	22,289
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	3,596,836	3,564,952	△31,883
資産の部合計	3,596,836	3,564,952	△31,883	負債及び純資産の部合計	3,596,836	3,564,952	△31,883

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

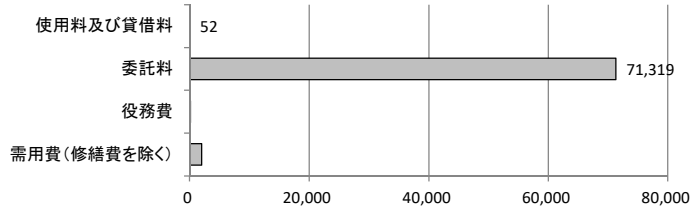
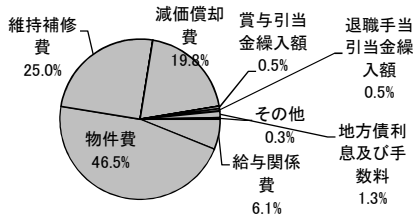
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	1.3人	人	日	人	11,222
給与関係費等	11,222千円	千円	千円	千円	
内、時間外勤務手当	287千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	やすらぎ苑減価償却による31,349千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立やすらぎ苑
取得年月日	平成20年(2008年)12月1日
建物・工作物の取得価額	1,395,567千円
建物・工作物の減価償却累計額	352,772千円
利用料金収入	34,759千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		1.6	2.3	2.8	0.5
施設老朽化比率		20.8	23.0	25.3	2.3
受益者負担比率		25.4	25.3	22.0	△3.3
徴収不能引当率		10.0	4.8	100.0	95.2
一般財源充当比率		81.9	81.5	76.8	△4.7
経常費用対公共資産比率		10.6	11.2	11.3	0.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費73,530千円(46.5%)、維持補修費39,529千円(25.0%)、減価償却費31,349千円(19.8%)、給与関係費9,642千円(6.1%)となっています。物件費の主な内訳としては、指定管理委託料65,917千円、施設管理委託料4,052千円です。また、使用料につきましては、吹田市使用料・手数料及び自己負担金改定に関する基本方針で、やすらぎ苑は大部分を公費負担とする施設として、受益者負担比率が低くなっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

火葬場の施設管理運営については一定の経費がかかりますが、その大半は公費から支出されています。そこで、一体的で効率的な施設管理運営を目的として平成30年4月から指定管理者制度を導入しました。制度を導入することにより、民間のより専門的な知識や技術を活かして市民サービスの向上を図ることができました。
なお、火葬炉については定期的に保守点検を実施していますが、炉本体の損傷による火葬炉使用停止は、市民生活に多大な影響を与えることから、今後も継続して日常の設備点検を充実していく必要があります。